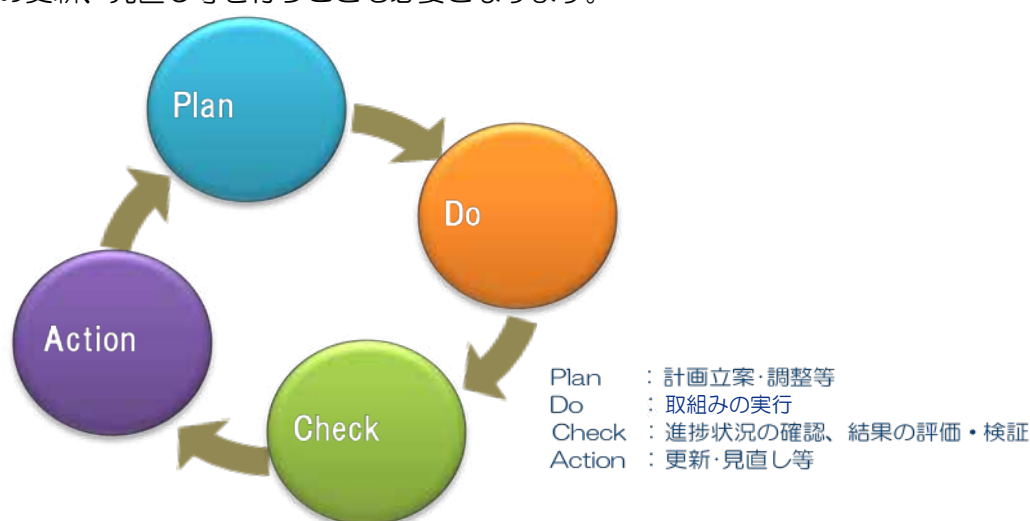


VII 計画の達成状況の評価

《達成状況の評価》

計画を進めるにあたっては、PDCA（Plan・Do・Check・Action）のサイクルによる継続的な取り組みを行い、必要に応じて適宜改善を図っていきます。

目指す目標を実現するための取り組みの詳細を計画立案・調整、実行し、各取り組み（事業）についての進捗状況の確認、得られた結果についての評価・検証を行います。得られた結果のほか今後の地域や社会の情勢、交通手段に関する技術革新の動向、人々の意識・行動や嗜好・流行の変化等によっては、計画内容の更新、見直し等を行うことも必要となります。



《評価指標と目標》

本計画の達成状況を評価するため、施策の方向性として設定した「日常の移動手段としての公共交通の利便性向上」、「観光周遊に利用できる公共交通の確保」、「公共交通を中心としたまちづくりやライフスタイルの定着」の3つの観点から、期間中に達成すべき目標と評価指標を以下のように設定します。

- ・当地域の公共交通の利用促進は、路線網・運行方法や利用環境の充実等だけでなく、居住者の考え方、ライフスタイルの変容、観光客へのコンテンツの魅力、アピール性等による部分が大い。具体的には今後検討するものであり、それらの複合効果を現時点で想定することは難しいため、居住者、関係者等が共有する努力目標として目標値を設定する。
- ・北陸新幹線敦賀開業に伴い、敦賀駅の乗降客数や来訪客数等の母数は、嶺南地域の公共交通の取り組みに関わらず増加するものと想定され、例えば小浜線各駅の単純な乗降客数だけでは評価できないため、周遊等の指標については工夫を要する。
- ・嶺南地域全体の目標を設定するものの、市町の規模等に差異があるため、大きな市の動向に結果が左右される面がある。したがって、各市町でも取り組み結果を個別にチェックできる指標があることが望ましい。
- ・地域全体の目標であり、6市町にわたる状況を把握する必要があるため、定期的な数値をなるべく容易に取得可能な指標であることが望ましい。

■(施策の方向性) 日常の移動手段としての公共交通の利便性向上

指標	現状	目標
(指標1) JR小浜線の年間利用者数	1,557 千人 (4,265 人/日) 〔 〈H30 実績〉 小浜線の敦賀駅～東舞鶴駅の各駅 乗車人員の計 (JR西日本提供) 〕	1,635 千人 (約 4,500 人/日) (5%増を目指す)
(指標2) JR小浜線の定期利用者数	1,215 千人 (3,329 人/日) 〔 〈H30 実績〉 小浜線の敦賀駅～東舞鶴駅の各駅 乗車人員の計 (JR西日本提供) 〕	1,276 千人 (約 3,500 人/日) (5%増を目指す)
(指標3) バス・乗合タクシー等の 年間利用者数	862 千人 〔 〈H30 実績〉 ・路線バス 384,760 人 ・敦賀市 330,501 人 ・美浜町 12,817 人 ・若狭町 31,581 人 ・小浜市 82,853 人 ・高浜町 19,871 人 〕	862 千人 (現状維持を目指す)

■(施策の方向性) 観光周遊に利用できる公共交通の確保

指標	現状	目標
(指標1) 嶺南地域を回る際に 公共交通を利用する 観光客の割合	37.9% 〔 〈H30 敦賀駅でのアンケート調査〉 ・JR小浜線 13.8% ・バス 24.1% 〕	50% 〔 〈敦賀駅でのアンケート調査〉 「クルマ」と回答した観光客 (29.3%) の約半数が公共交通 を利用するよう目指す 〕
(指標2) 経路検索サイト等への バス情報掲載率	52.8% 〔 〈R1 実績〉 19 路線/36 路線 〕	100% (全路線の掲載を目指す)
(指標3) レンタサイクルの 年間利用者数	7,565 人 〔 〈H30 実績〉 嶺南地域レンタサイクル 〕	10,000 人 (30%増を目指す)

■(施策の方向性) 公共交通を中心としたまちづくりやライフスタイルの定着

指標	現状	目標
(指標1) JR小浜線の年間利用者数 【再掲】	1,557千人 (4,265人/日)	1,635千人 (約4,500人/日) (5%増を目指す)
(指標2) バス・乗合タクシー等の 年間利用者数 【再掲】	862千人 (H30実績) ・路線バス 384,760人 ・敦賀市 330,501人 ・美浜町 12,817人 ・若狭町 31,581人 ・小浜市 82,853人 ・高浜町 19,871人	862千人 (現状維持を目指す)
(指標3) モビリティ・マネジメントに 関するイベント、乗り方教室 等開催件数	22件 (H30実績) ・敦賀市 9件 ・美浜町 0件 ・若狭町 0件 ・小浜市 13件 ・おおい町 0件 ・高浜町 0件	50件 各市町が期間中に10回程度 実施することを目指す

《進捗管理》

計画全体の取組みの進捗確認や結果の評価・検証(PDCAの“C”)を行う主体が必要であり、「福井県嶺南地域公共交通活性化協議会」において行います。